

外務大臣賞

僕の小さな一歩

射水市立射北中学校 2年 棚田 武蔵

僕は今、「地球」というシェアハウスに住んでいる。近年、その地球は温暖化が著しく進行し、僕たちの生活に大きな影響を与えている。今までの僕たちの生活を守るためにも地球温暖化問題は、この地球環境を破壊した張本人である僕たち人間が解決しないとイケない問題だ。

地球には79億の人がいて、僕にはピンと来ないすごい人数だ。165cmの僕が軽く一歩を出すと50cmだった。地球上の大人も子供もみんな50cmずつ進むと395万kmになり、地球の一周は4万kmなので地球を98周もできる事になる。79億の人が小さな一歩を出すと、何だかすごい事ができそうな気がしてくる。

僕は今年の春、小さな一歩を始めた。我が家でコンポストに取り組む事にしたのだ。コンポストとは、生ゴミや落ち葉などを微生物の働きによって発酵、分解されてできた栄養を多く含む堆肥の事で、微生物の力を借りて生ゴミを土に戻す日本古来の方法だ。最近では堆肥を作る容器の事、堆肥を作る過程もコンポストという事も多い。ゴミが消えて土に戻るなんて不思議で面白いし、目に見えない微生物が生ゴミを分解するなんてすごい。

家庭から出た生ゴミは、燃えるゴミとして出されるが水分が多いので燃やすのに時間もかかるし、燃えにくいので石油を入れて無理矢理燃やしているのでお金もかかるし、地球温暖化の原因となる二酸化炭素も多く出る。

「家から出る生ゴミを、家で処理できれば環境問題は少しでも変わるかもしれない。」

僕が小さな一歩を始めた理由はこれだ。

コンポストは思っているよりも大変ではない。一日の生ゴミをコンポストに入れるだけでとても簡単だ。次の日にはなくなっている物もあるし、分解に時間がかかる物もあるし、肉や油だと微生物が喜んで土がとても暖かくなったり、たくさん発見があって面白い。8週でコンポストに入れた生ゴミの重さは約18kg、コンポストの増加は約3kg、結果生ゴミはマイナス15kg！我が家のゴミはとても減り、ゴミ袋は「大」から「中」へと変わった。小さな一歩は、確実に未来につながっている。

SDGsに無関係な人は誰一人いない。誰一人取り残さない世界のためには、中学生の僕だって地球人の一人として何かしないとイケない。地球温暖化は、世界中の動物や植物、生き物全てに関わる問題だ。

「大多数の人の無関心が地球を滅す。」

本で読んだが、その通りだ。逆に、大多数の関心が地球の命を救う事ができると思う。どんな未来になるかは、今を生きている人間次第だ。地球に住む一人一人が、他人事ではなく地球の未来に関心を持ち、小さな一歩を踏み出せば地球温暖化を少しでも変える事ができると思う。そのために、僕も小さな一歩を踏み出し続けていこう。